

「若返り・イメージチェンジ図りませんか？」 お肌ではありません、 革製品のお話です…

レザー工房雅



使えば使うほど革の質感が色艶を増して手になじみ、風合いのすぐれたものに自然と変化していくのが革製品ならではのよさである。しかし、使い捨てが当たり前の中、革製品のエイジングを味わう“遊び”が失われていっていないだろうか。

レザー工房雅（川崎市川崎区渡田新町、楊富強代表、044・329・1820、<http://koubou-miyabi.com>）は、革製品のシミ・汚れの除去、擦り傷・破損などの修理を専門的に行う工房だ。革製品のマイスターである楊代表が、これまで培った技術で革素材本来の輝きを取り戻し（若返り）、カラーチェンジやリメイク（イメージチェンジ）も手がける。

革は、自然素材でありながら耐久性の高い素材である。とはいえ、想い出の品、お気に入りのお品であるがゆえに傷みが目立ってきてしまった製品やもう使えないと諦めた経験もおありだろう。同工

房なら、革製品に付属したファスナーなどの交換にも対応でき、財布、バッグ、コートからソファや車の内装（シート・ハンドルなど）まで、愛着の深い一点ものをより長く楽しみ、自分色に染めて使い続けることが可能となる。

工房では、修理を待つ高級外車のシートや修理後の依頼品など、リペアの過程を垣間見ることができる。中には、想い出のランドセルを長財布やパスケースへリメイクされるご要望もあるという。贈られた方、使われる方、さまざまなく温かな空間が広がっている。



さまざまな革製品にあふれた店内



革用のミシン